



NPO／特定非営利活動法人

## 放送批評懇談会

# 第12回通常総会議事録

- 第一号議案 議長の選任
- 第二号議案 放送批評懇談会 2015 年度事業報告
- 第三号議案 放送批評懇談会 2015 年度決算報告
- 第四号議案 放送批評懇談会第 12 期 13 期役員
- 第五号議案 放送批評懇談会 2016 年度事業計画
- 第六号議案 放送批評懇談会 2016 年度収支予算

放送批評懇談会

2016年6月26日



**特定非営利活動法人放送批評懇談会**

**<第12回通常総会>**

■開催日 2016年6月26日

■会場 TKP新宿カンファレンスセンター  
カンファレンスルーム 6B

■会勢 <正会員>  
197名 (入会11名、退会10名)  
<維持会員>  
140社 (入会2社、退会1社)

■出席者 30名  
飯田みか 市村 元 出田幸彦 音 好宏  
川喜田尚 隈部紀生 五井千鶴子 上滝徹也  
小林 毅 桜井聖子 坂本 衛 嶋田親一  
鈴木健司 鈴木典之 鈴木嘉一 滝野俊一  
田中典子 中島好登 永須智之 丹羽美之  
信井文夫 橋本 隆 稗田政憲 桧山珠美  
藤田真文 藤久ミネ 古川柳子 水島宏明  
三原 治 山田健太

■委任状提出者 93名

■出席予定者と委任状提出者で計123名



## 第一号議案 議長の選任

定款第27条「総会の議長は、その総会に出席した正会員の中から選出する」の規定に則り、出席の正会員のなかから、「信井文夫氏」を合議により選出。

第二号議案

放送批評懇談会

2015 年度事業報告



## 2015年度総務事業報告

### 1. 志賀信夫賞

第7回志賀信夫賞の選考を行いました。正会員による候補者推薦を受け、選考委員会で選考を行い、毎日放送元社長・会長の山本雅弘さんを選出。6月2日、第53回ギャラクシー賞贈賞式で賞状と盾をお贈りしました。

選考委員会：音 好宏（委員長） 橋本 隆 藤田真文  
川喜田尚 飯田みか 丹羽美之

### 2. 準会員制度「Gメンバー」

視聴者の放送番組への関心を高め、「放送批評」に親しんでもらうことを目的として、新たな準会員制度「放送批評懇談会 オンライン会員 Gメンバー」（以下、Gメンバー）の設置を決定し、Gメンバー活動のための専用サイトの構築等、発足準備を行いました。これまでWeb会員組織で運営を行ってきた「マイベストTV賞」も、Gメンバーの活動に移行することを決定しました。

### 3. ギャラクシー賞エントリーシステムの電子化

ギャラクシー賞への参加手続きを電子化する準備を進めました。

### 4. 第15回「日韓中テレビ制作者フォーラム 韓国・釜山大会」

2015年10月28日～31日、韓国・釜山「海雲台（ヘウンデ）グランドホテル」で開催された第15回大会「日韓中テレビ制作者フォーラム」に協力し、正会員一名を派遣し、大会の成功に寄与しました。

### 5. NHK BSプレミアム「ザ・ベストテレビ2015」

2015年9月27日（日）、28日（月）。28日に、第52回ギャラクシー賞テレビ部門大賞の琉球朝日放送「裂かれる海～辺野古 動き出した基地建設～」が放送されました。

### 6. NHKラジオ「ザ・ベストラジオ2015」

2015年10月10日（土）、11日（日）、17日（土）、18



日（日）放送。10日は、第52回ギャラクシー賞ラジオ部門大賞受賞の山形放送「花は咲けども～ある農村フォークグループの40年～」が、11日は優秀賞受賞の南海放送「風の男～BUZ AEMON」が放送されました。

#### 7. 事務所レイアウト変更

現所在地での営業が20年を越えるにあたり、事務スペースの動線等を見直し、より効率的な業務体制を整えるための模様替えを行いました。



## 2015年度出版編集事業報告

1. 昨年度は下記のメンバーで運営しました（敬称略）。

委員長 飯田みか  
副委員長 水島宏明 内藤圭介  
委員 氏家夏彦 木村幹夫 隈元信一 鈴木健司  
田川義博 仲宇佐ゆり 西川博泰 藤田高弘  
編集スタッフ 中島好登 福島美子 山本夏生

2. 毎月6日に「GALAC」を発行しました（発行部数は3400～4300部の間で推移）。

- 1) 特集テーマは以下のとおりです。

2015年10月号 スポーツジャーナリズムの宿題  
（連載「名人列伝」開始）  
2015年11月号 戦後70年を放送はどう伝えたか〈前編〉  
2015年12月号 戦後70年を放送はどう伝えたか〈後編〉／  
追悼 野崎 茂  
2016年1月号 第53回〔上期〕ギャラクシー賞  
2016年2月号 テレビのネット連動20年  
2016年3月号 揺れる！番組倫理の“番人”BPO  
2016年4月号 解明！お散歩番組人気の秘密／  
ドローン空撮の是非  
2016年5月号 「食べる」ドラマ  
2016年6月号 さらば平成のキャスターたち／  
震災5年をどう伝えたか  
2016年7月号 決定！第53回ギャラクシー賞  
2016年8月号 詳報！第53回ギャラクシー賞  
2016年9月号 放送コンテンツをもっと海外に！（仮題）

- 2) 放送批評懇談会の正会員にもっと活躍していただくために、連載「Best&Worst」を正会員の寄稿中心に切り替えました。併せて、CMも批評対象としました。



- 3) これまでも選奨事業委員会のシンポジウム報告などを掲載してきましたが、企画事業委員会とも連携し、セミナーの抄録を掲載しました（2016年1月号、5月号）。
3. 「GALAC」のインターネット対応を進めました。
  - 1) 2016年1月号より電子版を発行しました（定価500円）。卸先は、BOOK☆WALKER、Amazon、紀伊國屋書店Kinoppy、Sony Reader Store、honto、BookLive!、kobo（楽天）などのインターネット書店です（売れ行きは数冊～数十冊）。
  - 2) インターネットのニュースサイト「goo ニュース」「@nifty ニュース」「東洋経済 online」に記事を提供してきたのに加え、2016年2月号で朝日新聞出版「dot.」にも連載と特集（ともに一部）記事の提供を開始しました。



## 2015年度選奨表彰事業報告

1. 本年度は下記の委員の構成で運営しました。

選奨事業委員長 藤久ミネ

<テレビ部門委員会>

委員長 丹羽美之

副委員長 古川柳子

委員 出田幸彦 岩根彰子 太田省一 岡田芳枝  
岡室美奈子 河野尚行 滝野俊一 藤久ミネ  
水島宏明 宮崎美紀子

<ラジオ部門委員会>

委員長 橋本 隆

副委員長 茅原良平

委員 池本孝慈 鵜飼一嘉 五井千鶴子 末田倫子  
永須智之 中村亮平 縫 崇 松浦正和  
三原 治 山本 索

<CM部門委員会>

委員長 稗田政憲

副委員長 碓井広義

委員 秋吉淳一郎 小川幸子 草川 衛 汲田亜紀子  
千葉健吉 服部千恵子 桧山珠美 山家誠一  
横川紀子 吉江一男 若尾一彦

<報道活動部門委員会>

委員長 鈴木嘉一

副委員長 山田健太

委員 稲塚秀孝 岩崎信道 小原道雄 河邑厚徳  
田中早苗 谷岡理香 旗本浩二 福島俊彦  
矢後政典 横山隆晴

選奨事業委員会担当事務局 福島美子

2. 第53回ギャラクシー賞各部門の選考のため、以下の作業を行いました。



<テレビ部門委員会>

- ・2015年4月から2016年3月まで、毎月選考会を開き月間賞4本を選びました。選考結果を「GALAC」誌上に月間賞選評および番組短評一覧として発表しました。毎月20日を情報解禁日とし、月間賞の選考結果をプレスリリースしました。
- ・2015年9月11日～29日、10月11日～23日に、第53回上期自薦作品184本を視聴。11月3日、月間賞（24本）と自薦作品の中から上期入賞作品7本を選出しました。
- ・2016年3月10日～31日、4月9日～18日に、第53回下期自薦作品176本を視聴。4月24日、月間賞（23本）と自薦作品の中から下期入賞作品7本を選出しました。同時に特別賞、個人賞、フロンティア賞も選びました。

<ラジオ部門委員会>

- ・2015年4月から2016年3月まで、毎月ラジオ委員会を開催してラジオについての合評を行いました。
- ・2015年10月、第53回上期37本の自薦作品を聴取し、10月28、29日に各部門の上期候補作品を選出。
- ・2016年4月、下期39本の自薦作品を聴取し、4月15、18日に各部門の下期候補作品を選出。
- ・4月21日、上期下期をあわせた候補作品の中から入賞作8本を選出し、DJパーソナリティ賞も選出しました。
- ・2015年7月26日にTBSセミナー室（参加者：66名）、9月27日に毎日放送AVルーム（参加者：51名）で「入賞作品を聴いて、語り合う会」を開催しました。

<CM部門委員会>

- ・2015年4月から2016年3月まで、毎月委員会を開催してCMについての合評を行いました。
- ・2015年10月26日、上期140本の自薦作品を視聴し、13本の候補作品を選出。その後、1社より辞退の申し出があり、上期の候補作品は12本になりました。
- ・2016年4月22日、下期100本の自薦作品を視聴し、13本の候補作品を選出。



上期下期合わせた中から13本の入賞作品を選出しました。

<報道活動部門委員会>

- ・2015年10月24日、上期11本の自薦作を視聴・聴取し、4本の候補作を選出。
- ・2016年4月23日、下期19本の自薦作を視聴・聴取し、6本の候補作を選出。上期下期合わせた中から6本の入賞作を選出しました。
- ・「GALAC」連載ページを委員が分担し、全国各地における報道活動の紹介、各局報道活動への期待、特定のテーマに関する報道活動についての論考などを執筆しました。
- ・2015年11月7日、公開シンポジウム「ギャラクシー賞受賞報道活動を見て、制作者と語る会」第8回を、専修大学神田校舎5号館542教室で実施しました（参加者：約40名）。

3. 2016年6月2日（木曜日）、セルリアンタワー東急ホテルボールルームにて「第53回ギャラクシー賞贈賞式・懇親会」を開催しました。なお、実行プロジェクトメンバーは入江たのし理事、中島好登事務局長を中心に編成しました。出席者は報道陣、スタッフも含めて、約620名でした。



## 2015年度企画開催事業報告

1. 2015年度の企画事業委員会は、下記の委員で構成しました。

委員長 川喜田尚

副委員長 桜井聖子

委員 入江たのし 奥 律哉 堀木卓也 元橋圭哉

柳川素子

2. 2015年度は従来の大型シンポジウムを見直し、タイムリーなワンポイントのテーマで中規模のセミナーを2回開催しました。両セミナーとも好評で、1回目のラジオ系セミナーは約16万円、2回目の独立局の戦略についてのセミナーは約5万円の黒字となりました。また月刊「GALAC」との連携を図り、セミナーの抄録を掲載できたことも評価されました。各セミナーの概要は以下の通り。

### 【企画1】タイトル：

「ラジオの可能性について真剣に考える すべてを語る150分」

日時：2015年9月11日（金）14:00～16:30

会場：明治記念館

開催趣旨：

独自のビジョンでサテライト局もすべてFM補完放送に取り組まれた南海放送の田中和彦社長、地方局で唯一ホールディングス化し、3期連続増収を達成している民放第一声のCBCラジオから升家誠司社長を迎え、いま攻めに出るビジョン、その心は？勝算は？ また地域メディア、ジャーナリズム、ビジネス、コンテンツといった視点から多面的にラジオの可能性を探る。

アジェンダ：

14:05～15:25 【私たちの考えるラジオのメディア特性とは】

パネリスト：

南海放送株式会社（RNB）代表取締役社長 田中和彦氏

株式会社CBCラジオ 代表取締役社長 升家誠司氏

モデレーター：川喜田尚



15:40～16:30 【ディスカッション 質疑】

登壇者+会場からの質問等

参加費：一般8,000円、維持会員社5,000円（1名あたり）、  
個人会員3,000円

参加者：111名

【企画2】タイトル：

「逆転の発想で成長基調に！番組力が社員を変える 会社を変える」

日時：2016年2月19日（金）14:00～16:30

会場：明治記念館

開催趣旨：

いま一番元気の独立テレビ局として全国から注目を集める  
“9レイジーだぜ”のTOKYO MXから本間雅之常務、地  
理的ハンディを独自の戦略で克服し3期連続増収（2012～14  
年度）を達成した三重テレビから山田享司取締役を迎える。  
独自の番組開発、地域メディア、ジャーナリズム、非GRP  
ビジネスのプラス面マイナス面といった視点から、逆転につ  
ながるビジョンを探り、多面的にテレビ放送を考える。

アジェンダ：

14:00～15:10 【マイナスからの発想、戦略、コンテンツ】

パネリスト：東京メトロポリタンテレビジョン放送株式会社  
（TOKYO MX）

常務取締役 本間雅之氏

- ・「5時に夢中」 開発の発想
- ・デジタル化の追い風を最大活用

三重テレビ放送株式会社 取締役 山田享司氏

- ・発想の転換で攻めに転じ黒字化
- ・式年遷宮、伊勢志摩サミット、その後の展望

モデレーター：川喜田尚

15:25～16:30 【真剣、本音ディスカッション】

登壇者+会場からの質問等

参加費：一般8,000円、維持会員社5,000円（1名あたり）、  
個人会員3,000円

参加者：76名



## 2015年度マイベストTV賞

### プロジェクト事業報告

1. 以下のメンバーで運営しました。  
プロジェクトリーダー 滝野俊一  
メンバー 石橋さや夏 中平良磨 永田俊和  
西川博泰 桧山珠美  
事務局 中島好登
2. Web会員の登録者は15,661名(2016年3月31日現在)。
3. Web会員と正会員による月間ノミネート投票を毎月実施しました。
4. 第10回「マイベストTV賞グランプリ」が決定しました。  
Web会員15,611名に放送批評懇談会の正会員199名が加わり、グランプリの投票にあたりました。  
グランプリは、2015年4月度から2016年3月度まで投票によって毎月決められたノミネート作36本の中から、最大5本までを投票するという方法で決められ、546票を獲得した木曜ドラマ「スペシャリスト」(テレビ朝日)が荣誉に輝きました。
5. 「マイベストTV君」のアカウントでツイッターを運用し、投票の告知などを行いました。フォロワー数は417名(2016年6月20日現在)です。
6. 新たな準会員制度「放送批評懇談会 オンライン会員 Gメンバー」(以下、Gメンバー)設置の決定を受け、Gメンバー活動のための専用サイトの構築等、発足準備を行いました。  
また、Web会員をスムーズにGメンバーへ移行させるための告知を行いました。

第三号議案

放送批評懇談会

2015 年度決算報告

## 収 支 計 算 書

2015年4月1日～2016年3月31日まで（単位：円）

科目	予算額	決算額	差異
<b>I. 収入の部</b>			
1. 会費等収入			
会費収入	2,940,000	2,232,386	707,614
維持会費収入	42,000,000	42,085,000	△ 85,000
2. 事業収入			
選奨表彰事業収入	30,860,000	35,222,760	△ 4,362,760
企画開催事業収入	1,400,000	973,000	427,000
周年事業収入		58,000	△ 58,000
3. その他の収入			
出版編集事業収入	4,000,000	3,555,277	444,723
広告料収入	5,300,000	5,064,600	235,400
4. 雑収入			
受取利息	0	244,781	△ 244,781
当期収入合計	86,500,000	89,435,804	△ 2,935,804
<b>II. 支出の部</b>			
1. 事業費			
選奨費	8,000,000	7,536,701	463,299
式典費	10,200,000	10,187,332	12,668
企画開催費	1,200,000	709,151	490,849
原稿料	6,800,000	5,676,239	1,123,761
編集費	5,000,000	5,170,092	△ 170,092
雑誌印刷費	16,700,000	17,990,424	△ 1,290,424
発送費	1,700,000	1,817,847	△ 117,847
2. 管理費			
給料手当	14,500,000	14,341,800	158,200
人件費	7,000,000	5,533,734	1,466,266
法定福利費	2,400,000	2,419,993	△ 19,993
福利厚生費	150,000	171,130	△ 21,130
旅費交通費	900,000	817,082	82,918
通信費	800,000	732,548	67,452
資料費	350,000	310,776	39,224
会議費	350,000	276,255	73,745
水道光熱費	350,000	309,163	40,837
事務用品費	100,000	129,466	△ 29,466
消耗品費	400,000	435,852	△ 35,852
備品費	810,000	764,129	45,871
諸印刷費	600,000	371,922	228,078
広報費	1,000,000	700,080	299,920
支払手数料	240,000	216,799	23,201
賃借料	4,100,000	4,004,257	95,743
保険料	520,000	511,440	8,560
交際費	200,000	119,758	80,242
雑費	900,000	818,645	81,355
諸会費	150,000	151,644	△ 1,644
租税公課	80,000	74,250	5,750
退職給付引当金繰入	1,000,000	1,000,000	0
当期支出合計	86,500,000	83,298,509	3,201,491
当期収支差額	0	6,137,295	△ 6,137,295

**特別会計 収 支 計 算 書**  
2015年4月1日～2016年3月31日まで（単位：円）

科目	2015予算	決算額	差異
I. 収入の部			
志賀基金取崩益	10,000,000	3,909,600	6,090,400
当期収入合計	10,000,000	3,909,600	
II. 支出の部			
マイベストTV賞刷新	5,000,000	3,909,600	1,090,400
ギャラクシー賞エントリーデジタル化	5,000,000	0	5,000,000
			0
当期支出合計	10,000,000	3,909,600	6,090,400
当期収支差額	0	0	0

## 貸借対照表

2016年3月31日現在(単位:円)

科目	金額		
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	45,958,890		
未収入金	3,322,500		
所有物	286,625		
流動資産合計		49,568,015	
2. 固定資産			
賃借権利金等	165,807		
差入保証金	4,099,500		
特定資産			
志賀基金	64,543,842		
退職給付引当金	24,104,068		
固定資産合計		92,913,217	
資産合計			142,481,232
II. 負債の部			
未払金	10,928,144		
前受金	2,340,000		
預り金	231,972		
退職給付引当金	24,104,068		
負債合計			37,604,184
III. 正味財産の部			
志賀基金	100,000,000		
その他の正味財産	4,877,048		
正味財産合計			104,877,048
(うち基本金)			0
(うち当期正味財産増加)			2,227,695
負債及び正味財産合計			142,481,232

## 正味財産増減計算書

2015年4月1日～2016年3月31日まで(単位:円)

科目	金額		
I. 増加の部			
1. 資産増加額			
現金預金増加額	9,407,044		
未収入金増加額	102,600		
賃借権利金増加額	133,566		
2. 負債減少額			
預り金減少額	50,869		
増加額合計		9,694,079	
II. 減少の部			
1. 資産減少額			
特定資産減少額	2,674,390		
2. 負債増加額			
未払金増加額	3,791,994		
退職給付引当金増加額	1,000,000		
減少額合計		7,466,384	
当期正味財産増加額			2,227,695
前期繰越正味財産額			102,649,353
期末正味財産額			104,877,048

第四号議案

放送批評懇談会

第 12 期 13 期役員



**放送批評懇談会 第12期13期役員**

- 理事長 音 好宏
- 副理事長 橋本 隆 (選奨事業委員会ラジオ部門委員長)
- 専務理事 藤田真文 (総務担当)
- 常務理事 藤久ミネ
- 川喜田尚 (企画事業委員長)
- 丹羽美之 (選奨事業委員会報道活動部門委員長)
- 理事 水島宏明 (出版編集委員長)
- 稗田政憲 (選奨事業委員長兼CM部門委員長)
- 出田幸彦 (選奨事業委員会テレビ部門委員長)
- 滝野俊一 (マイベストTV賞プロジェクトリーダー)
- 市村 元
- 入江たのし
- 岩根彰子
- 茅原良平
- 五井千鶴子
- 上滝徹也
- 小林 毅
- 坂本 衛
- 桜井聖子
- 嶋田親一
- 鈴木健司
- 鈴木嘉一
- 桧山珠美
- 山田健太
- 中島好登 (事務局長)
- 監事 隈部紀生
- 鈴木典之

第五号議案

放送批評懇談会

2016 年度事業計画



## 2016年度総務事業計画

1. 志賀信夫賞  
第8回の選考、表彰を行います。
2. 正会員の加入促進  
正会員の加入促進に努めます。正会員の増員によって会の基盤を強め、より多彩な活動を支えます。
3. 維持会員の加入促進  
維持会員の増員によって会の財政基盤を強めることを目指します。
4. 準会員制度の発足・運営  
新準会員制度「放送批評懇談会 オンライン会員 Gメンバー」を発足させます。年会費3000円、半年会費2000円として、会員を広く募ります。  
マイベストTV賞プロジェクトと連携して、マイベストTV賞ほか、その活動を支えます。なお、Gメンバー発足に伴い、Web会員制度は終了しメンバーは解散します。
5. Gメンバーサイトの管理・運営  
Gメンバーの活動の場として、インターネット上にGメンバーサイトをオープンし、その管理・運営に当たります。  
Gメンバーサイトには正会員専用ページも設定し、正会員のマイベストTV賞投票参加、GALAC電子版閲覧などのサービスを行います。
6. 広報の強化  
放送批評懇談会のイメージアップのため、広報活動を行います。
7. ギャラクシー賞データベース  
「ギャラクシー賞データベース」の管理運営に当たります。



8. ギャラクシー賞エントリーシステムの電子化  
ギャラクシー賞参加手続きの電子システムを構築、スタートさせます。
9. 第16回「日韓中テレビ制作者フォーラム・中国長沙大会」  
2016年10月13日～16日に開催される第16回「日韓中テレビ制作者フォーラム・中国長沙大会」に協力し、大会の成功に寄与します。
10. 放送批評懇談会細則の見直しを検討します。



## 2016年度出版編集事業計画

1. 本年度は下記のメンバーで運営します（敬称略）。

委員長	水島宏明
副委員長	鈴木健司
委員	氏家夏彦 岡田芳枝 内藤圭介 西川博泰 桧山珠美 藤田高弘

\*この他に放送現場の人などから2名程度追加の予定（交渉中）  
編集スタッフ 中島好登 福島美子 山本夏生

2. 毎月6日に「GALAC」を発行します。本年度の運営方針は以下のとおりです。

- 1) テレビやラジオという「放送」が現在、大きな転機を迎えている状況を強く意識し、「放送」にかかわる諸問題に問題提起しつつ、次の時代を見据えながら放送文化の向上に貢献する放送批評を雑誌として行います。
- 2) 特集ページ・連載ページ・各選奨委員会による作品批評ページの3本柱で構成し、放送にかかわる制作者、送り手、受け手などそれぞれの立場の人たちにとって「プラスα」を伝える雑誌であるよう心がけます。
- 3) 特集ページではタイムリーなテーマを選定し、タイミングを失することなく、スピーディーな展開を目指していきます。
- 4) ネットでの記事発信や電子出版などにも力を入れて、信頼される放送批評誌としての存在感と影響力を高めていきます。
- 5) 選奨事業委員会や企画事業委員会と連携し、放送をめぐる様々な活動に多面的に寄与していきます。



## 2016年度選奨表彰事業計画

1. 2016年度は下記の委員構成で運営します。

選奨事業委員長 稗田政憲

<テレビ部門委員会>

委員長 出田幸彦

副委員長 岩根彰子

委員 太田省一 岡室美奈子 小泉世津子

旗本浩二 福島俊彦 藤田真文

<このほかに4名交渉中です>

<ラジオ部門委員会>

委員長 橋本 隆

副委員長 五井千鶴子

委員 伊藤友治 鶴飼一嘉 大谷知史 北郷裕美

黄 莉香 小林浩子 仲宇佐ゆり 永須智之

中村亮平 三原 治

<CM部門委員会>

委員長 稗田政憲

副委員長 桧山珠美

委員 国枝智樹 汲田亜紀子 鈴木武人 鈴木ゆかり

野上信子 服部千恵子 星野 裕 本庄雅之

道端令英子 横川紀子 若尾一彦

<報道活動部門委員会>

委員長 丹羽美之

副委員長 市村 元

委員 石井裕一郎 大澤恒夫 河野尚行 田中早苗

谷岡理香 藤久ミネ 古川柳子 宮前周司

矢後政典

選奨事業委員会担当事務局 福島美子

2. 第54回ギャラクシー賞（2016年度）の審査、ならびに贈賞式を行います。



### 3. 2016年度の運営方針は以下のとおりです。

今年度も昨年度（第53回ギャラクシー賞）と変わらず、各部門ともそれぞれに熱い討議を重ね、より公正かつ緻密な選考を行う所存です。第53回では、CM部門を除き3部門は前年を上回る応募をいただきました。特にテレビ部門は74本増という驚異的伸びを示しました。これはテレビ部門の「ギャラクシー賞入賞作上映会」やラジオ部門の「入賞作品を聴いて、語り合う会」、報道活動部門の「ギャラクシー賞受賞『報道活動』を見て、制作者と語る会」などを開催した各部会の成果が確実に実を結んできたようです。本年度はCM部門も「ギャラクシー賞入賞CM作品を見る会」を開催することにしています。どの部門も受賞作品を媒介にして、制作者と視聴者をつないでいく試みを続けていきたいと思えます。

#### 1) テレビ部門委員会の運営

①昨年度の応募作品数は史上最多の360本にのびました。またニュース番組が大賞を受賞したのもギャラクシー賞の長い歴史の中で初めてのことでした。テレビジャーナリズムがきちんと機能し、ドキュメンタリー、ドラマ、バラエティなどが豊かな放送文化を創造していくためには、テレビに対する真摯で活発な批評活動が不可欠です。テレビ部門委員会はそうした批評の創造・発信拠点となることを引き続き目指します。

②テレビ部門委員会は、毎月、月評会を開いて各委員が推薦する番組の中から厳選して「月間賞」を選びます。また年2回、各放送局、プロダクションからエントリーされる応募番組の選考を行い、「月間賞」作品も加えて上期、下期それぞれで「入賞作品」および「奨励賞」を選びます。そのうえで年間を通して優秀な作品や個人に対して「大賞」「優秀賞」「選奨」「特別賞」「個人賞」を決定します。また昨年度新設した「フロンティア賞」は2年目となりますが、テレビの新境地を開拓し、その未来や可能性を予感させる萌芽的・挑戦的な番組、活動を顕彰します。

③上記の選考の過程や結果を贈賞式および「GALAC」誌上で発表します。その他、受賞番組を紹介する活動の一環として、制作者をゲストに招いた番組上映会や討論会などを開催します。



## 2) ラジオ部門委員会の運営

新委員6名を迎えて、継続委員6名とともに新しいメンバー構成で活動を続けます。

新メンバーには、コミュニティ局に詳しい委員を迎えました。いまや300局に達するコミュニティ局は様々な問題を抱えながらも積極的な運営、番組制作を目指している局が多くなりました。ラジオメディアとして、重要な役割を果たしています。

今まで以上にそういった面にも目を行き届かせながらの活動としたいと思います。

### ①定例合評会

毎月1回、全国各地のAM局、FM局、コミュニティ局のあらゆる番組の中からテーマを決め、番組を聴取し、合評会を開催し、その議論内容を「GALAC」誌上で公開し、番組の制作力向上の一助となるよう中身のある批評活動を今まで以上に努力します。

### ②ギャラクシー賞の選考

これまでと同様に上期、下期に分けて応募されてくる応募作品を聴取し、大賞1番組、優秀賞3番組、選奨4番組を選び、贈賞します。時代に寄り添いながら、ジャーナリズムの重要なメディアのひとつとして、敬意を受けられるような公正で厳正な選考を致します。応募番組の更なる増加を目指して、通常からの勧誘活動も一層強化したいと思います。

### ③「GALAC」誌での活動

「GALAC」で、合評内容の公開の他に、「ワイド」欄—各局のワイド番組の紹介、「とびっくす」欄—新聞紙上には載らない(載っていない)ラジオ界の貴重な情報の紹介、「ひと」欄—全国のラジオ局でラジオの発展に努力している多くの人々で、局が違うために知られていない優れた人たちの紹介、この3コーナーも引き続き継続し、充実を目指します。

④「ギャラクシー賞入賞作品を聴いて制作者と語り合う会」の開催  
約15年20回開催してきた通称「聴く会」、毎回参加者からは大きな拍手を頂いております。今年度も大賞・優勝賞4番組を聴いて語り合う会を2回開催する予定です。



今年は昨年度のように「戦後70年」「東日本大震災から5年」といった大きな区切りとなる年ではないと思いますが、ラジオメディアそのものが小回りの利く身近な存在、なにか事あれば大胆に企画し積極的にトライしていく覚悟でいます。

### 3) CM部門委員会の運営

電通の調べによると昨年度の総広告費は6兆1,710億円で前年比100.3%となり、4年連続で前年実績を上回りましたが、テレビ広告費は1兆9,323億円で前年度を1.2%下回り（地上波テレビは1.4%減）ました。さらに地上波テレビCMの制作費は2,145億円で前年比98.8%となっています。また、オンエア作品数、銘柄数、企業数も減少しています。この影響もあってか第53回ギャラクシー賞の応募数は28本減少しました。他方で地方CMの応募が12本増え全体の18%を占めるまでになりました。CM委員会では、これらの点をふまえ以下の活動を通じ委員会運営を強化してまいります。

①選考会ではなお一層テレビ広告の役割を確認しつつ、クリエイティブ力のある作品、感銘をあたえる作品、時代をリードする作品を発掘していきたいと思っています。

②月1回の月評会は、委員各々がリストアップした3本のテレビCMを多種多様にわたる視点から検討し、検討したCMの中からその月の話題のCMを選ぶことで、「GALAC」誌面になお一層の充実をもって反映できるようにしていきます。

③好評CMとしてGALACに載ったものをその制作者や広告主に贈り、ギャラクシー賞応募への促進をはかりたいと思います。

④ギャラクシー賞応募増につながるよう、広告の専門誌にギャラクシー賞受賞CMの記事が載るようにPRに努めます。

⑤ギャラクシー賞CM部門の認知を他部門の認知レベルに少しでも近づけるべく、「ギャラクシー賞入賞CM作品を見る会」を9月に行います。

⑥今期の委員は半数が変わり女性委員の数も増えて新しい視点も広がると思います。委員すべてが広告への熱いおもいをもって活気ある委員会運営をいたします。



#### 4) 報道活動部門委員会の運営

①報道活動部門は、放送批評懇談会の創立40周年を記念して2002年に創設されました。従来の賞やコンクールは、個々の「番組」の完成度や作品性を中心に評価を行ってきました。これに対して、報道活動部門は、個々の「番組」の枠組みでは必ずしも捉えきれない一連の報道「活動」を全体として評価するところに最大の特徴があります。持続的な調査報道、局を挙げてのキャンペーン、ウェブや他メディアと連動した新しい展開など、多種多様な報道活動を対象にし、放送ジャーナリズムの活性化に寄与することを目的としています。

②報道活動部門は応募制を採っています。年2回（上期・下期）、各社・各局からエントリーを受け付け、選考を行います。最終的に大賞1本、優秀賞2本、選奨3本を選びます。上記の選考の過程・結果は贈賞式及び「GALAC」誌上で発表します。

③この他、年2回程度の合評会の開催、委員の持ち回りコラムの「GALAC」への掲載（「報道活動部門トピックス」）、「見る会、語る会」の開催などを通して、優れた報道活動を積極的に発掘・紹介すると同時に、多方面からの応募を促すよう努めます。



## 2016年度企画開催事業計画

1. 放送の今日的課題をめぐるシンポジウム、セミナー、研究会などを企画・立案・実施します。
2. 本年度の企画事業委員会は、以下の委員で構成します。
  - 委員長 川喜田尚
  - 副委員長 桜井聖子
  - 委員 奥 律哉 田川義博 堀木卓也 松崎泰弘  
元橋圭哉 柳川素子

\*この他若干名追加の予定です。
3. 前年度同様、中規模なシンポジウム、勉強会などをタイムリーに開催する方向で企画検討します。
4. 基本方針案は以下の通りと致します。
  - ① 放送業界の活性化に貢献する。
  - ② 放送批評懇談会に相応しい質の高い企画を目指す。
  - ③ 他の委員会活動や月刊「GALAC」との連携を一層強化する。



## 2016年度マイベストTV賞

### プロジェクト事業計画

1. 以下のメンバーで運営します。  
プロジェクトリーダー 滝野俊一  
副リーダー 茅原良平  
メンバー 飯田みか 石橋さや夏 中平良磨  
永田俊和 西川博泰  
事務局 中島好登 齋藤茜里
2. マイベストTV賞の参加やその活動を支える準会員制度「放送批評懇談会 オンライン会員 Gメンバー」(以下、Gメンバー)を5月にスタートさせます。それに伴い従来のWeb会員制度は終了しますが、入会特典を付けるなどWeb会員がGメンバーに移行しやすいようにキャンペーンを実施します。
3. Gメンバーサイトの運営にあたっては、プロジェクトメンバーが掲示板に参加するなど、準会員制度の盛り上げとサービスの充実に努めます。
4. Gメンバーの会員を増やすべく、SNSなどを使った広報活動に力を入れます。「マイベストTV君」のアカウントでツイッターを運用し、投票の告知を行うほか、ギャラクシー賞やGALAC、放懇セミナーなど会の事業のパブリシティにも努めます。ツイッタータイムラインはGメンバーサイトにも掲載し、会員への情報サービスに当たります。
5. 親睦団体や大学関係者に働きかけるなどして、新たな会員を獲得すべく草の根的な活動を行います。
6. マイベストTV賞の月間ノミネート番組の投票を毎月実施します。そして、第11回「マイベストTV賞グランプリ」を決定し、第54回ギャラクシー賞贈賞式で表彰します。

第六号議案

放送批評懇談会

2016 年度収支予算

## 2016年度予算案

2016年4月1日～2017年3月31日まで（単位：円）

科目	予算額	決算額	2016予算	摘要
<b>I. 収入の部</b>				
1. 会費等収入				
会費収入	2,940,000	2,232,386	2,900,000	正会員会費
維持会費収入	42,000,000	42,085,000	42,500,000	維持会員会費
Gメンバ-会費収入			800,000	Gメンバ- 会費
2. 事業収入				
選奨表彰事業収入	30,860,000	35,222,760	31,800,000	参加料, 贈賞式収入, レプリカ販売
企画開催事業収入	1,400,000	973,000	1,000,000	シンポジウム参加料
周年事業収入		58,000		
3. その他の収入				
出版編集事業収入	4,000,000	3,555,277	3,800,000	GALAC販売
広告料収入	5,300,000	5,064,600	5,500,000	GALAC広告
4. 雑収入				
受取利息	0	244,781		
当期収入合計	86,500,000	89,435,804	88,300,000	前年比98.7%
<b>II. 支出の部</b>				
1. 事業費				
選奨費	8,000,000	7,536,701	8,200,000	委員会, 見る聞く会, レプリカ, サイト
式典費	10,200,000	10,187,332	12,000,000	ギャラクシー賞贈賞式開催費
企画開催費	1,200,000	709,151	700,000	委員会運営, 実施経費経費
原稿料	6,800,000	5,676,239	5,700,000	GALAC原稿料
編集費	5,000,000	5,170,092	5,000,000	GALAC編集費, 委員会運営
雑誌印刷費	16,700,000	17,990,424	17,300,000	GALAC印刷費
発送費	1,700,000	1,817,847	1,800,000	GALAC発送費
2. 管理費				
給料手当	14,500,000	14,341,800	17,500,000	職員給与
人件費	7,000,000	5,533,734	5,000,000	契約職員, 臨時職員経費
法定福利費	2,400,000	2,419,993	3,100,000	社会保険など
福利厚生費	150,000	171,130	180,000	作業従事者の夜間飲食費など
旅費交通費	900,000	817,082	800,000	職員通勤費・交通費, 役員交通費
通信費	800,000	732,548	700,000	郵便, 宅配便, 電話, ネット
資料費	350,000	310,776	120,000	新聞, 雑誌, 書籍
会議費	350,000	276,255	280,000	理事会, プロジェクトの会議費用
水道光熱費	350,000	309,163	300,000	水道代, 電気代
事務用品費	100,000	129,466	100,000	事務用品, PC周辺機器
消耗品費	400,000	435,852	400,000	コピー機使用料, 日用品
備品費	810,000	764,129	500,000	映像音響機器, PC
諸印刷費	600,000	371,922	500,000	会員名簿, 封筒, 名刺など
広報費	1,000,000	700,080	900,000	Gメンバ-サイト, ホームページ, DB, 日韓中
支払手数料	240,000	216,799	220,000	振込手数料, 更新手数料
賃借料	4,100,000	4,004,257	4,100,000	事務所賃借, コピー機レンタル
保険料	520,000	511,440	700,000	保険（退職金補填）, 火災保険
交際費	200,000	119,758	150,000	冠婚葬祭, 中元, 歳暮
雑費	900,000	818,645	820,000	税理士, 社労士, NHK, WOWOW, JCOM
諸会費	150,000	151,644	150,000	友好団体会費
租税公課	80,000	74,250	80,000	法人住民税, 消費税, 収入印紙
退職給付引当金繰入	1,000,000	1,000,000	1,000,000	毎年100万円の積み立て
当期支出合計	86,500,000	83,298,509	88,300,000	前年比106.0%

**特別会計 2016年度予算案**  
2016年4月1日～2017年3月31日まで（単位：円）

科目	決算額	2016予算	適用
I. 収入の部			
志賀基金取崩益	3,909,600	6,090,400	
当期収入合計	3,909,600	6,090,400	2年トータルで10,000,000
II. 支出の部			
マイベストTV賞刷新	3,909,600	1,090,400	Gメンバーサイト修正、改善
ギャラクシー賞エントリーデジタル	0	5,000,000	エントリーのデジタル化のシステム構築
当期支出合計	3,909,600	6,090,400	2年トータルで10,000,000



NPO／特定非営利活動法人

## 放送批評懇談会

〒160-0022 東京都新宿区新宿 5-10-14 中村ビル 2F

Tel. 03-5379-5521 Fax. 03-5379-5510

[kondankai@houkon.jp](mailto:kondankai@houkon.jp) <http://www.houkon.jp/>